

様式 - A

用語	台風の大きさ	大型 (の台風)	超大型 (の台風)	
よみ	たいふうのおおきさ	おおがた	ちょうおおがた	
解説	台風に伴う風速15m/s以上の強風域の大きさによって決めており、特に影響域の大きいものに限って大きさを表現する。	風速毎秒15m/s以上の強風域の半径が500～800kmの大きさをもつ台風	風速毎秒15m/s以上の強風域の半径が800km以上の大きさをもつ台風	
<p>台風の大きさの分類 台風に伴う風速15m/s以上の領域の半径を基準にして決める</p>				
用例 (主に活用される場面)		大型で強い台風第15号	超大型の台風第15号が北上しています。	
関連用語・類似用語		大きい台風(同義語)	非常に大きい台風(同義語)	
注意すべきポイント (防災上の注意すべき点)	1) 台風を取り巻く強い風の範囲が方向により異なる場合はその平均の半径で決める。2) 強風域の大きさが500km未満の台風では、大きさの表現をしない。3) 台風の大きさは台風の影響域の広がり具合を表すもので、暴風の激しさを示すものではない。4) 大きい台風が必ずしも強い台風とは限らないので、最大風速と併用する必要がある。台風情報では、「大型で強い台風」のように、大きさと強さの用語を台風番号の前に記述するが、どちらか一方が表現基準に達する場合には「大型の台風」と言った表記や「強い台風」と言った表記もする。			